

1 区計画策定の経過

★みどりのわ・ささえ愛プラン推進策定委員会の開催

第2期となる区計画の策定にあたっては学識経験者や自治会、地区社協などの方々に構成される「みどりのわ・ささえ愛プラン推進策定委員会」を開催し、検討を行いました。

<平成21年度>

- 第2期計画策定の方針・組織体制、策定スケジュール等の検討
- 区民アンケート実施の検討、結果の分析
- 地区別計画策定に向けての地区支援チームや地区別計画策定委員会の運営・スケジュール等の検討
- 区役所・区社協・地域ケアプラザの取組状況の報告
- 地域での各種取組状況に関する情報交換 など

<平成22年度>

- 第2期区計画の基本案、構成の検討
- 基本目標1～5、及び目標毎に設定する「目指す姿」の検討
- 地区別計画策定の進捗確認や意見交換
- 第2期計画の推進についての検討
- 区役所・区社協・地域ケアプラザの取組状況の報告
- 地域での各種取組状況に関する情報交換 など

★基本目標の継承・「目指す姿」の表現

みどりのわ・ささえ愛プランは前述のとおり、地域の特色を活かした「地区別計画」と、緑区全体で取り組む「区計画」とで構成されます。日常生活に連動した課題などに対する地域の取組をまとめた「地区別計画」と、地域を超える課題や、近隣では対応しにくい課題、区全体を対象とした課題や地域の取組を支援する計画などをまとめた「区計画」とが、互いに連動することでより有効な計画となります。

第1期計画の振り返り評価を踏まえ、第1期計画での「基本目標」は、一つ一つの地域課題を解決しながら緑区が目指していく方向性を示したものであることから、今回の計画においても継承することとし、さらに下記の内容を加えることとしました。

- (1) 「基本目標1」で標榜している「つながり」を、第2期計画では、より具体的な実践にむすびつけていくため、「基本理念」に追加しました。
- (2) 「基本目標5」については、「地域を主体とした防災・防犯活動や心身ともに健康で快適な生活を送るための取組を進め、誰もが安全・安心に暮らせ、いつまでもいきいきと活動や外出ができる地域」を目指す姿とし、第1期計画のキーワード「安心・安全・健康」を今回の計画においては「安全・安心・健康」に再定義しました。
- (3) 第1期計画期間に行った推進委員会や地区別計画策定委員会での意見や、アンケート調査でのご意見などから導き出される、緑区の「目指す姿」を基本目標毎に表現しました。

第2期区計画の基本理念・基本目標・目指す姿

基本理念

『誰もが安心して暮らし続けられる緑区をめざして』
～一人ひとりが主役・共に支えあう つながりのあるまちづくり～

基本目標 1

地域での「つながり」のあるまちづくり キーワード…つながり

目指す姿 身近な住民同士が積極的にあいさつや声かけを行ったり、地域の行事や活動に参加することにより、子どもから大人まで地域の誰もが顔見知りとなる関係づくりを進め、つながりを持った支えあえる地域を目指します。

基本目標 2

「一人ひとりの力」が発揮できるまちづくり キーワード…人材・担い手

目指す姿 ライフスタイルに合わせ、気軽に地域と関わることができる仕組みと、ボランティア活動が円滑に行えるネットワークづくりや人材育成を進め、身近で支えあえる地域を目指します。

基本目標 3

みんなが活動できる「機会・場」のあるまちづくり キーワード…機会・場

目指す姿 多様な場を有効活用し、身近な地域でさまざまな人たちが気軽に集い、活動できる「機会」や「場づくり」を推進し、つながりあえる地域を目指します。

基本目標 4

必要な「情報」が入手しやすいまちづくり キーワード…情報

目指す姿 ニーズに応じた相談先や福祉保健に関するさまざまな情報を発信・周知するとともに、生活課題の解決に向けた情報共有を進め、誰もが手軽に必要な情報を得られ、活用できる地域を目指します。

基本目標 5

「安全・安心・健康」のまちづくり キーワード…安全・安心・健康

目指す姿 地域を主体とした防災・防犯活動や、心身共に健康で快適な生活を送るための取組を進め、誰もが安全・安心に暮らせ、いつまでもいきいきと活動や外出ができる地域を目指します。

【目指す姿】

身近な住民同士が積極的にあいさつや声かけを行ったり、地域の行事や活動に参加することにより、子どもから大人まで地域の誰もが顔見知りとなる関係づくりを進め、つながりを持った支えあえる地域を目指します。

【目指す姿を実現するためのキーワード】

世代間・団体間の交流促進／イベント等を通じた地域でのふれあい・交流／ご近所づきあいの底力／学校との連携・次世代の人材育成／地域で声かけ／顔の見える関係づくり／自治会を中心とした「つながり」

【各地区から寄せられた共通課題】

- 少子高齢化、核家族化が進んでいる。
- 近所づきあいが希薄化している。
- 高齢者が孤立化している現状がある(孤独死の発生など)。
- 地域活動の担い手が増えにくい。
- 地域活動に参加したくてもできない人がいる一方で、参加したくない、無関心な人もいる。
- 世代間交流の機会が少なくなっている。
- 新築マンション等の自治会加入率が低下している。
- 団体同士の横のつながりが薄い。
- 地域の学校や施設等との交流やつながりを持つことが必要である。

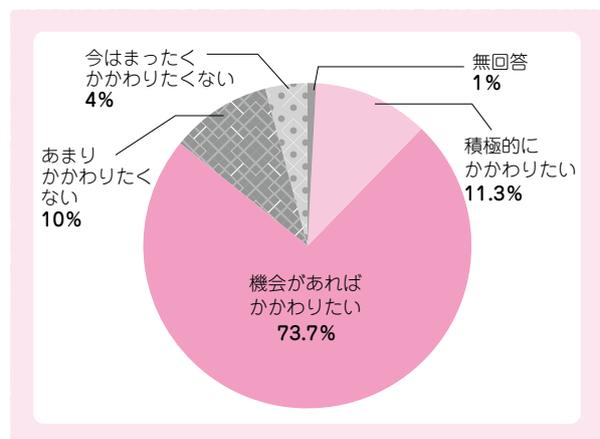
【第1期計画での取組】

あいさつ、声かけで地域の活動に参加する人たちの輪が広がってきた。／健康教室やふれあい広場(地域と子どものふれあう場)などを核として、地域のつながりが生まれているところもある／福祉まつりなどの行事を通じて、地域の団体同士のつながり・連携が生まれているところもある。／地域の行事などで学校と連携すると、地域の活性化に繋がると感じられた。

平成21年度 みどりのわ・ささえ愛プラン区民アンケート結果より

Q. あなたは今後、地域の方(子どもも含めて)とどの程度かかわりたいですか？〔問12〕
～地域の方とかかわりたいと思う程度について～

A. 地域の方とのかかわりについては、「機会があればかかわりたい」「積極的にかかわりたい」を合わせると、85%の方が地域の方とかかわりたいと思っています。



<区民の声>(自由意見欄から)

地域住民が顔見知りとなり、お互いに協力してささえあえる雰囲気づくりが大切だと思います。(40代男性)

【第2期計画での具体的な取組】

地域	<p>●身近な住民同士がつながりを持つきっかけとして、積極的にあいさつや声かけを行います。 【例】積極的なあいさつや声かけ(住民)、あいさつ運動(自治会・子ども会)、回覧板の手渡し(自治会)、登下校時の見守り活動(P T A、自治会、主任児童委員、民生委員・児童委員、住民等)など</p>
	<p>●地域の行事や活動に積極的に参加することにより、誰もが顔見知りとなる関係づくりを進めます。 【例】地域のお祭り(連合自治会、地区社会福祉協議会、P T A等)、地区活動への中学生の参加(学校、地区社会福祉協議会、自治会)など</p>
	<p>●地域で活動している団体同士が交流することにより、お互いの活動を知り、交流の輪を広げていきます。 【例】お結び会による交流活動 など</p>
地域ケアプラザ・地域包括支援センター	<p>●積極的なあいさつを交わすなど地域住民とのコミュニケーションを図ることで、地域ケアプラザをより身近に感じてもらい、地域ケアプラザの役割についての理解を促します。 【例】ケアプラザ窓口での対応、地域の行事やおまつり等への参加、自主事業実施時の対応、地域住民へのケアプラザ機能や福祉・保健制度等の説明 など</p>
	<p>●行事や広報等を活用して地域活動を積極的に周知し、活動のきっかけづくりや地域の団体・住民同士の交流を深め、地域における連携やつながりを支援します。 【例】ケアプラザまつりの開催、ケアプラザ広報誌等の発行、活動紹介(パネル展示・作品展示)、ボランティアグループの情報交換会の開催民生委員等関係団体との意見交換の場の設定 など</p>
	<p>●地域交流や世代間交流の機会となる事業を実施し、子どもから大人まで顔見知りとなるきっかけづくりを行います。 【例】世代間交流事業、サークル間交流支援、対象者別支援事業(子育て・高齢者・障がい者)、福祉教育、地域福祉施設との連携による地域交流事業 など</p>
区社会福祉協議会	<p>『様々な分野の人たちのつながりのある仕組みづくり』を目的とした事業に取り組みます。</p>
	<p>●地区別計画の推進を中心とした、つながりのある地域づくりを支援します。 【例】地区別計画推進事業、地区アセスメントシート作成 など</p>
区役所	<p>●地区社協を中心とした、小地域での課題解決の仕組みづくりを支援します。 【例】地区社協出張研修、地区社協ホームページ作成支援 など</p>
	<p>●多くの人参加するイベントや事業を通して、子どもから大人まで交流の持てる機会を作り、顔見知りとなる関係づくりを支援していきます。 【例】区民まつり、みどりっこまつり、中学生と赤ちゃんのふれあい体験、子ども達の夢の緑区推進事業(花いっぱい運動、クリーンアップ大作戦)など</p>
	<p>●日頃の業務や事業を通して、地域でのつながりが広がるよう関係機関で連携して支援していきます。 【例】地域活動への参加・支援、地区支援チームの取組、地域力推進担当の取組など</p>
	<p>●福祉保健活動を行っている団体同士が、お互いの活動を知り、交流を持つことで、活動の広がりを持てるよう支援していきます。 【例】緑区市民活動支援センター「みどりーむ」による団体活動支援 など</p>
	<p>●日頃から住民同士があいさつや声かけができるよう、職員が率先して行っています。 【例】区民から親しまれる区役所づくり事業 など</p>
	<p>●地域の支えあいのネットワークを広げていくために、関係機関と連携し、各種連絡会を開催します。 【例】地域自立支援協議会、在宅高齢者支援連絡会、児童虐待防止連絡会 など</p>

【目指す姿】

ライフスタイルに合わせ、気軽に地域と関わることができる仕組みと、ボランティア活動が円滑に行えるネットワークづくりや人材育成を進め、身近で支えあえる地域を目指します。

【目指す姿を実現するためのキーワード】

気軽に参加できる「仕組み」づくり／いろいろな人が地域活動やボランティアに参加／活動をしっかり続けるための支援／新たなボランティアの発掘と育成／ボランティア団体間の横のつながりを大事に／地域の人々が地域を見守る

【各地区から寄せられた共通課題】

- 自分の趣味や特技を地域活動に役立てたいと考えているが、きっかけがない。
- ボランティアに関心があるが、活動できる場所や時間が限られているので、参加しにくい。
- 日常生活の「ちょっとしたこと」を一緒に考えたり、手伝いを頼める相手が見つかりにくい。
- ボランティアをしたい人・関心ある人と、担い手を求めている活動とが結びつきにくい。
- 生活を支えるボランティア活動(見守り訪問・送迎・配食など)は、新たな担い手が増えにくい。
- 団体の活動や情報がその団体内部に留まっていて、福祉保健活動の広がりにつなげていない。
- 福祉保健活動は、支える人と支えられる人という一方的な関係がイメージされやすく、固定された認識を持たれやすい。
- 若い人たちの地域活動への参加など、次の世代の人材確保・育成をどのように行うか悩んでいる。
- 自治会に入る人が少なくなっていて、地域活動が困難になってきている。

【第1期計画での取組】

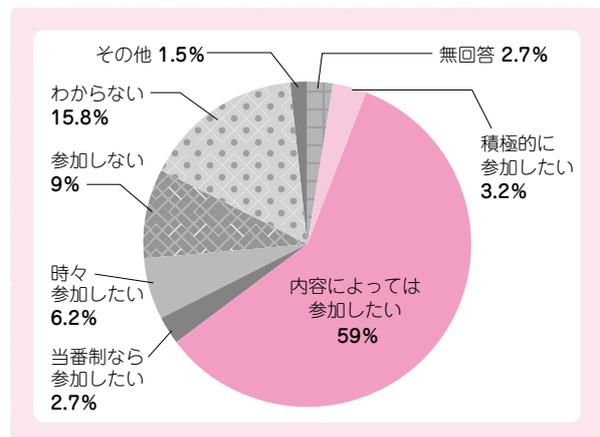
地域ボランティア相談室(地区ボランティアセンター)を中心とした、身近な地域で気軽に相談できる環境と解決の仕組みづくりに取り組んだ。／地区ボランティアセンター・地域ケアプラザ・区社協の連携による活動への参加・仲介、相談調整の推進を図った。／地域ケアプラザや自治会館を活用した、集いや交流サロン、サークル活動など、住民同士で自主的に交流する場を活かす取組を開始した。／障がいのある人やその家族が講師となり、福祉教育の出前授業や勉強会の実施、施設と地域の合同避難訓練の開催など、福祉保健の啓発活動の推進に取り組んだ。／支援を必要とする方、支援が可能な方を把握、調整し、双方から役に立つ仕組みを作ろうとの声があった。

平成21年度 みどりのわ・ささえ愛プラン 区民アンケート結果より

Q. あなたが今後、地域のボランティア活動へ参加依頼があった場合どうしますか〔問16〕

～地域のボランティア活動への参加依頼に対する対応について～

A. 地域のボランティア活動への参加依頼に対しては、「内容によっては参加したい」が59.0%と最も多く、「積極的に参加したい」、「当番制なら参加したい」、「時々参加したい」を含めると71.1%の方が、地域のボランティア活動への関心を持っていることがわかりました。



<区民の声> (自由意見欄から)

中高年の人が、経験や特技を生かしてボランティアに気軽に参加できるようになればよいと思います。(50代女性)

【第2期計画での具体的な取組】

地域	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域活動や行事等を通じて、福祉保健活動団体・関係機関とのつながりを広げるなどして、新たな人材の発掘や育成をすすめます。 【例】自治会、地区社会福祉協議会、学校、PTAなどの活動を通じた人材の発掘、地域防災訓練（地域と施設の合同実施）、福祉まつり など
	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分の知識や経験を活かし、地域活動へ参加することにより、身近で支えあえる地域づくりをすすめます。 【例】ちょっと先生（市民活動支援センター）、地域でのボランティアコーディネート など
	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の障がい福祉に対する理解を深め、思いやりのある人が育つ地域づくりをすすめます。 【例】緑ハートバリアフリー実行委員会 など
地域ケアプラザ・地域包括支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ● 個人の趣味や特技が活かせるような活動の紹介やボランティア希望者のニーズに合わせた調整など、人材や担い手に関するコーディネートをを行います。 【例】ボランティアコーディネート（相談調整・広報）、貸し部屋登録団体の紹介及び周知、区社協ボランティア相談コーナーとの連携や情報交換、ボランティアコーディネーター会議への参加 など
	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域ケアプラザへのボランティア登録を呼びかけるとともに、地域ケアプラザや自治会館等の地域の身近な施設を活用し、ボランティア活動につながる各種事業を実施します。 【例】ボランティア登録の呼びかけ、対象者別支援事業（子育て・高齢者・障がい者等）、趣味活動やボランティア活動のきっかけづくり など
	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域のボランティア活動グループ等と連携し、事業の共催やグループ活動の支援を行います。 【例】地区民生委員児童委員協議会・福祉施設等の会議への参加、精神障がい者への理解を促す講座等の開催、広報紙・ホームページ・チラシ等による情報提供、地区別計画推進事業、地区アセスメントシート作成 など
	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の福祉保健活動団体との連携強化を図り、ボランティア育成につながる事業の開催やボランティア活動も含めた各種情報を広報します。 【例】ボランティア交流会やボランティア研修の開催、キャラバンメイトとの連携事業 など
	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の学校などとの連携による学童等を対象としたボランティアのきっかけづくり（体験含む。）や育成に取り組みます。 【例】養護学校との連携によるボランティア体験の実施、学童の夏休み期間等を利用した福祉体験やボランティア育成事業の開催 など
	<ul style="list-style-type: none"> ● 『新たな人材の発掘と育成、その後の活動の拡がり』を目標とした事業に取り組みます。
区社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ● 地区社協単位でのボランティア相談窓口の開設・運営を支援します。 【例】地区ボランティアセンター事業、地区社協ボランティアコーディネーター養成研修 など
	<ul style="list-style-type: none"> ● 中高校生や大学生、40～60代のような次世代の人材を発掘、育成します。 【例】ボランティア入門講座、ヤングボランティア講座、団塊世代講座 など
	<ul style="list-style-type: none"> ● 各種ボランティア講座を開催し、講座修了者を継続支援します。 【例】手話ボランティア入門講座、音声訳ボランティア入門講座、障がい者余暇支援入門講座 など
区役所	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域活動の担い手を広げていくため、さまざまな講座を開催したり、普及啓発に取り組んでいきます。 【例】地域子育て支援拠点「いっぽ」の取組（子育て支援者、保育支援者養成講座）、心の病を知る講座はまちゃん体操リーダー養成講座、キャラバンメイトによる認知症サポーター養成講座、地域医療救護隊員の募集と研修の実施 など
	<ul style="list-style-type: none"> ● 将来の担い手となり得る若い世代に対して、他者を思いやる気持ちを育て、地域活動に関心を持つきっかけとなるような支援をしていきます。 【例】中学生と赤ちゃんのふれあい体験、子ども達の夢の緑区推進事業（子ども会議）、学校・地域連携支援事業（中学生の職場体験、学習活動支援）、地域医療救護隊員の募集と研修の実施 など
	<ul style="list-style-type: none"> ● 活動団体同士の相互交流の機会を提供し、ネットワークが広がるよう支援します。また、地域活動について学ぶための講習会などを実施します。 【例】市民活動パワーアップ支援事業、みどり子育て支援ネットワーク推進事業 など
	<ul style="list-style-type: none"> ● 担い手と受け手を結びつける仕組みが充実し、身近な地域で支えあえるよう支援していきます。 【例】ほっとホームステイ・サポート事業、子育てサポートシステムの運営（いっぽ） など
	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の課題について区民と行政が協働で取組、人材育成や地域活動が活性化するよう支援していきます。 【例】地域課題チャレンジ提案事業 など

【目指す姿】

多様な場を有効活用し、身近な地域でさまざまな人たちが気軽に集い、活動できる「機会」や「場づくり」を推進し、つながりあえる地域を目指します。

【目指す姿を実現するためのキーワード】

参加を促進し、支援する仕組みづくり／場の利用を促進する仕組みづくり／活動を知っていただくための工夫／子育て支援に向けた交流の場を確保／地域と施設・学校等とのつながりによる相互の「場」の活用／施設だけではなく、さまざまな場の活用

【各地区から寄せられた共通課題】

- 近くに集える「場」が少なく、活動場所の確保が難しい。
- 施設の利用ルールが、活動するグループの希望と合わないため、利用しにくい。
- いつも同じメンバーで集まっているだけなので、活動が広がらない。
- 世代間交流できる機会がほしいが、そういった機会が少ない。
- 他の活動グループと交流できる機会や場所が少ない。
- 地域活動の状況がわからないため、参加する機会を知ることができない。
- 施設は知っているが、自分たちの活動に利用できるかどうか、また、利用方法・予約方法等を知らないので、利用したことがない。
- 地域によっては坂道が多く、飲食店やスーパーが近くにないことなどから、高齢者の外出が難しい。
- 子育て中のお父さんお母さんが参加しやすい仕組みがあるといい。

【第1期計画での取組】

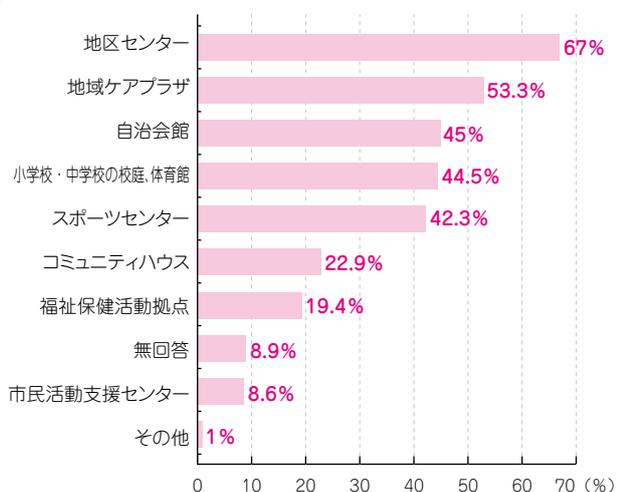
「親子の広場」ができて、子育てを中心とした地域の人たちとのつながりができてきた。／高齢者同士の会食の機会を定期的に設けていて、とても好評です。／地区社協や自治会などが中心となり、施設見学・お花見・紅葉狩りなどのイベントを定期的に行っているの、楽しみながら参加することができます。／高齢者の趣味を通じた自立した活動が行われ、仲間づくりに繋がっています。／地域ケアプラザと地区社協及び民生委員・児童委員協議会の共催事業が少しずつ増えてきました。／自治会館や地域ケアプラザだけでなく、老人ホームや高齢者住宅、コミュニティスペースを活用した地域活動も実施しています。

平成21年度 みどりのわ・ささえ愛プラン 区民アンケート結果より

Q. あなたは地域のボランティア活動・余暇活動で利用できるものとして次の施設を知っていますか？〔問17〕

～地域のボランティア活動・余暇活動に利用できる施設の認知度について～

A. 地域のボランティア活動・余暇活動に利用できる施設の中では、「地区センター」及び「地域ケアプラザ」が50%を上回り、以下、自治会館、小中学校の校庭・体育館、スポーツセンター等の施設が区民の方に広く知られていることがわかりました。



<区民の声> (自由意見欄から)

いろいろな人との交流できる場がたくさんあって、誰もが顔見知りでいられるとよいと思います。(30代女性)

【第2期計画での具体的な取組】

地域	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域単位の行事やイベントの開催により、気軽に集うことができる「機会」や「場」を設けます。 【例】地域のお祭り・運動会・ラジオ体操(自治会、地区社協、PTA、こども会等)、福祉まつり(自治会、地区社協、民生委員・児童委員、地域活動グループ等)、敬老会(自治会、老人会、地区社協) など
	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域活動グループの積極的な活動により、さまざまな人たちの交流を促進し、「機会」や「場」の拡充へとつなげていきます。 【例】子育てサロン・老人給食(自治会、地区社協、地域活動グループ等)、高齢者食事会(学校、地区社協等)、昔遊び伝承・高齢者福祉体験学習・学校での福祉教育など(学校、地区社協、PTA) など
	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域で活動している個人・団体同士が交流することにより、お互いの活動を知り、交流の輪を広げていきます。 【例】お結び会による交流活動 など
地域ケアプラザ・地域包括支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域ケアプラザを地域のグループ活動や地域の集いの場として活用できるよう、引き続き、支援を行います。 【例】地域活動団体の活動の場としての利用促進、地域ケアプラザを会場とした地域イベントなどの開催支援、利用団体間の交流機会の確保 など
	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域ケアプラザを利用している活動団体間の交流を促進し、他の活動グループと交流できる機会や場所となる自主事業を実施します。 【例】利用団体間の交流機会の確保(まつり・交流会・懇談会の開催等)、広報紙等による地域活動団体の紹介、自主事業実施後のグループ自立促進 など
	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域ケアプラザ貸し部屋の情報を地域に周知するなど、利用促進に取り組みます。また、地域における活動の機会や場所についての相談や情報提供を行い、ニーズに応じた支援を行います。 【例】広報紙等による貸し部屋情報の提供、貸し部屋登録団体へのアンケートや意見交換会等による利用ニーズ把握と利用促進策の実施、個人や団体の相談や情報提供による活動支援 など
区社会福祉協議会	『各種団体の活動の拠点となる場の確保』を支援する事業に取り組みます。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 空き店舗など、活動拠点となりうる場所の情報を集約、発信します。 【例】区社協会員組織拡充、賛助会員拡充、拠点利用者調整会議 など
	<ul style="list-style-type: none"> ● 分野別活動拠点を活用した事業の充実を図ります。 【例】子育て支援フォーラム など
区役所	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域で活躍する団体の拠点確保を支援する方策を検討します。 【例】緑いきいき助成金、善意銀行 など
	<ul style="list-style-type: none"> ● 公共施設等を有効活用し、支援を必要とする人たちが、気軽に参加でき、身近な地域で安心して活動や相談のできる機会を提供していきます。 【例】プレパパ・プレママ教室、赤ちゃん教室、子育て支援者事業、保育園の園庭開放、不登校児を持つ親の会(ほっとみどり) など
	<ul style="list-style-type: none"> ● 様々な人たちが、地域活動等に興味を持つきっかけを作り、いつでも活動できるように「機会」や「場」に関する情報提供を進めていきます。 【例】広報区版の発行、ホームページでの情報提供、市民活動パワーアップ支援事業、チャレンジ提案事業 など
	<ul style="list-style-type: none"> ● 拠点施設の機能を活かし、活動の「場」や「情報」の提供を進めるとともに、参加するためのきっかけづくりをするなど、各種活動を総合的に支援していきます。 【例】地域子育て支援拠点「いっぽ」、「みどり地域活動ホームあおぞら」、緑区生活支援センター、緑区市民活動支援センター などによる各種事業
	<ul style="list-style-type: none"> ● 同じ分野で活動する人たちが集える「機会」や、世代・活動内容を問わない多様な交流の「機会」を設け、「つながり」を深める取組を進めます。 【例】子育て支援フォーラム、シルバーフェスティバル、あつまれみどりっこまつり、中学生と赤ちゃんのふれあい体験 など

【目指す姿】

ニーズに応じた相談先や福祉保健に関するさまざまな情報を発信・周知するとともに、生活課題の解決に向けた情報共有を進め、誰もが手軽に必要な情報を得られ、活用できる地域を目指します。

【目指す姿を実現するためのキーワード】

必要な人に適切な情報を提供／知りたい情報を届ける工夫／地域の情報をわかりやすく／支援を必要とする人への理解／必要情報を把握し、適切に活用／イベントや活動をさまざまな手法でもっとPR／自治会加入の案内の工夫／他の地域の活動を知ろう

【各地区から寄せられた共通課題】

- 知りたいと思う情報を容易に入手することができていない。
- 地域ケアプラザ、地域包括支援センター、子育て支援拠点など相談機関が整備されてきたが、それらの機関の情報が十分に行き届いていない。
- 地域活動団体の活動に関する情報の周知が難しく、十分に行き届いていない。
- 個人情報保護の観点から、個人情報を入手しにくくなっている。
- 悪徳商法について、他の自治会の取組も情報交換できるといい。また、みんなが分かるようなPRをどのようにするのか。
- 自治会に加入していないと、地域で誰が困っているかなど把握が難しい。
- 防犯情報をもっと早く入手できるようにしたい。

【第1期計画での取組】

掲示板を広報手段として用い、有効であった。もっと活用できると思う。／地域での情報の伝達のルートがいくつかできてきたので、情報を共有できるようになってきた。／「防災ささえあいカード」が口コミで広がり「助けてほしい」と言うのをためらう人も声が挙げやすくなってきている。／いざという時に備えての自治会未加入世帯の高齢者の把握を行っている。／さまざまな活動を通じて、見守ることができるように、より良い方法をみんなで考えていく必要があると思います。／地域ケアプラザや地区社協の定期的な情報誌の発行により、地域のことがわかるようになってきた。

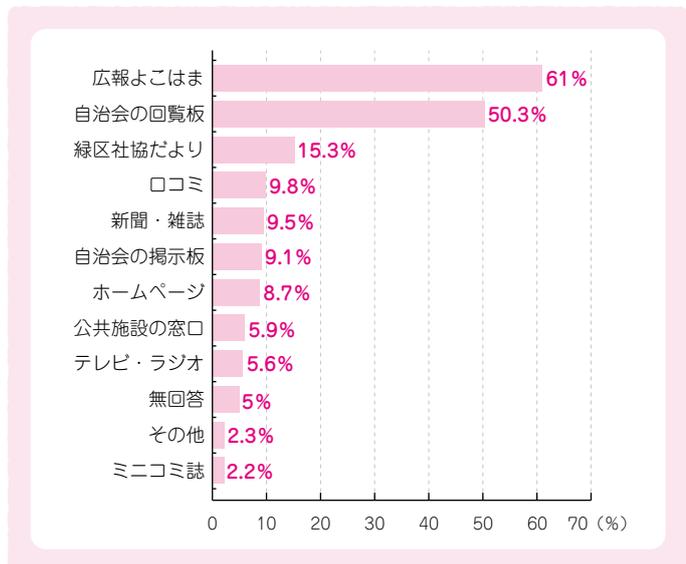
平成21年度 みどりのわ・ささえ愛プラン 区民アンケート結果より

Q. あなたは、地域の福祉保健情報をどのような手段で得ることが多いですか？〔問22〕
～地域の福祉保健に関する情報の入手法について～

A. 地域の福祉保健情報を知る手段は、「広報よこはま」が約6割、「自治会の回覧板」が約5割となっています。また、「緑区社協だより」、「口コミ」、「新聞・雑誌」、「自治会の掲示板」、「ホームページ」、「公共施設の窓口」、「テレビ・ラジオ」等が活用されています。

<区民の声> (自由意見欄から)

いろいろな人との交流できる場がたくさんあって、誰もが顔見知りでいられるとよいと思います。(30代女性)



【第2期計画での具体的な取組】

地域	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域での取組や活動の状況を、広報誌やチラシ、ホームページ等で発信します。 【例】自治会・地区社協等の広報誌の発行、行事やイベント開催のお知らせ、活動報告等のチラシの発行、自治会ホームページの立ち上げ など
	<ul style="list-style-type: none"> ● 身近な地域の情報が住民へ伝わるような工夫に取り組みます。 【例】掲示板や回覧板の活用、人目につくようなチラシの工夫、地域情報マップの作成 など
	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害時における身近な地域での助け合いを推進するため、つながりあう関係づくりと、要援護者の支援を行なう中で、防災の情報等が入手しやすいようにします。 【例】要援護者を把握するための取組、災害時に必要となる情報の整理、防災マップの作成 など
地域ケアプラザ・地域包括支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域ケアプラザ・地域包括支援センターや地域の福祉保健活動団体等の様々な情報が手軽に得られるよう、各種広報活動に取り組みます。 【例】広報紙・イベントチラシ等の発行、ホームページによる情報発信、地域ケアプラザ内の情報コーナーの設置、窓口や各種事業開催時等の情報提供 など
	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域のイベントや各種活動に参加し、地域ケアプラザや地域包括支援センターの事業内容のPR等に努めます。また、地域活動団体と連携を図り、地域情報の共有化を進めます。 【例】地域活動(自治会・老人会等)や各種イベントへの参加と事業説明の実施、地区社協・民生委員やケアマネジャー等との定期的な意見交換 など
区社会福祉協議会	『福祉情報のネットワーク機能の強化』を目標とした事業に取り組みます。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域活動団体や施設、サービスなどについて、利用者の立場で分かりやすく情報を集約、発信します。 【例】区社協ホームページ運営、区社協パンフレット作成 など
	<ul style="list-style-type: none"> ● 移動手段に不安を感じている障がい者、高齢者等にむけて情報を集約、発信します。 【例】ボランティア情報誌発行、区社協だより発行、子育て支援フォーラム など
区役所	<ul style="list-style-type: none"> ● 地区支援チームは地域力推進担当などの区役所内の各課と連携し、地域に関する情報を収集・整理・共有するとともに、地域に発信していきます。 【例】地域に関する情報を定期的に発信(地域での回覧、区ホームページへの掲載) など
	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の福祉保健に関する情報の発信について、広報やホームページを充実させます。また、外国人市民に対する支援も行います。 【例】広報区版や区ホームページでの情報の発信、多言語情報の充実 など
	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域ケアプラザ等の相談機関に関する情報を集約し、区民にわかりやすく提供します。 【例】施設の広報誌・パンフレット・チラシ等の集約・提供、子育てや相談窓口に関する情報誌やマップの作成・提供、みどり子育てネットワークの構築 など
	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害時における身近な助け合いを推進するとともに、要援護者に対する支援を行います。 【例】災害に強いまちづくり事業 など

【目指す姿】

地域を主体とした防災・防犯活動や、心身共に健康で快適な生活を送るための取組を進め、誰もが安全・安心に暮らせ、いつまでもいきいきと活動や外出ができる地域を目指します。

【目指す姿を実現するためのキーワード】

地域でのつながりが大切(見守り・触れあい・サポート・参加)／日頃の近所づきあいが大切／自治会や施設の連携による安全・安心への取組／「防災ささえあいカード」の活用／災害時に役立つ情報の収集／身近な場所で健康づくり／安全な通行

【各地区から寄せられた共通課題】

- 地域で行われる防犯・防災に関する取組に関心を持つ人が増えてきたように感じるが、参加したことのない人もいる。
- 交通量が多かったり、歩道がない区間があったりするので、通行が不安である。
- 坂道が多く気軽に外出することができない。
- 健康づくりに関心があるが、取り組むきっかけがない。 ● 受動喫煙対策が徹底されていない。
- 何かあったときに周囲にSOSを出せない人がいると思う。(一人暮らしの青年・壮年層など)。
- 各自治会が防災ささえあいカードを活用して、要援護者を把握し、支援者(ボランティア)を増やしていく必要性を感じる。
- 防犯パトロールでは、もっと学校と連携していきたい。

【第1期計画での取組】

防災データマップの作成、配布(避難場所として協力してくれる施設も掲載)をしている。／登下校時の見守りパトロールを行うなど、防犯活動に地域ぐるみで取り組んでいる。／町内清掃活動などを通じて、地域への愛着を深めるとともに安心して通行できる空間づくりに取り組んでいる。／「防災ささえあいカード」の取組を進め、災害への備えを進めている。／「まちぐるみ健康づくり教室」を行い、地域の方と活動しながら、健康づくり活動を進めている。／地域が中心となってスポーツイベントを行い、健康意識を高めている。

平成21年度 みどりのわ・ささえ愛プラン 区民アンケート結果より

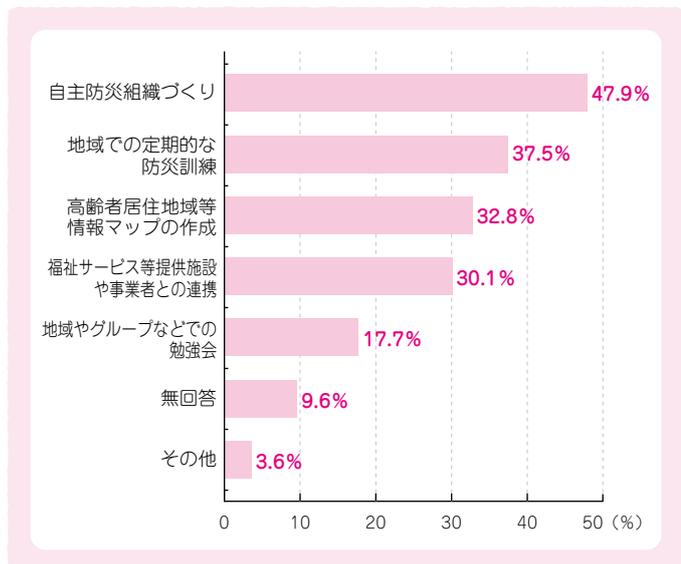
Q. あなたは「災害時に住民がささえあう地域づくり」には何が必要だと思いますか？〔問28〕

～災害時に備えて住民がささえあう地域づくりをすすめるために必要なことについて～

A. 「災害時に住民がささえあう地域づくり」では、「自主防災組織づくり」が約5割で必要とされています。また、防災訓練や情報マップ、施設や事業者との連携も求められています。

<区民の声>(自由意見欄から)

一人暮らしでも、安心・安全に住めるまちになればよいと思います。(60代女性)



【第2期計画での具体的な取組】

地域	<ul style="list-style-type: none"> ●災害緊急時の仕組みづくりを地域全体で考えていきます。 【例】地域防災訓練、防災ささえあいカードの取組 など
	<ul style="list-style-type: none"> ●誰もが安心して暮らせるよう、住民同士が協力し合い、犯罪防止に関する活動に取り組みます。 【例】防犯パトロール、防犯灯の設置促進、こども110番の家 など
	<ul style="list-style-type: none"> ●誰もが安心して安全に出かけられるよう、環境づくりや地域での支えあい活動に取り組みます。 【例】地域清掃、地域での外出支援活動(送迎サービス)、スクールゾーン協議会 など
	<ul style="list-style-type: none"> ●身近な地域でいつまでもいきいきと暮らせるよう、自主的な健康づくり活動を広げていきます。 【例】町ぐるみ健康づくり教室、ラジオ体操、ウォーキング、健康体操、はまちゃん体操の普及活動、健民祭 など
地域ケアプラザ・地域包括支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ●地域や関係部署と連携を図りながら、地域防災や防犯に関する意識を高める取組を進めます。 【例】地域防災訓練への参加・協力、消防署との連携による救急救命講習会の開催、近隣自治会等との防犯・防災に関する情報交換の実施、権利擁護や消費者被害の予防に関する取組 など
	<ul style="list-style-type: none"> ●特別避難所等としての役割が十分に発揮できるよう、災害対策などに取り組みます。 【例】防災マニュアル等に基づいた避難訓練・防災訓練の実施、地域の関係機関との連携、応急備蓄品の適正管理、AEDの設置 など
	<ul style="list-style-type: none"> ●健康講座や健康づくり教室の開催や支援を行うとともに、地域活動団体と連携による定期的な健康チェック等を実施することにより、いきいきと活動できる地域づくりを目指します。 【例】健康に関する講座や教室の開催、町ぐるみ健康づくり教室等の開催支援、保健活動推進員等との連携による健康チェックの実施、各種団体の健康づくり活動支援、健康づくりに関する相談対応健康づくりに関する人材育成支援 など
区社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ●『地域・施設・要援護者の連携と理解』を目標とした事業に取り組みます。
	<ul style="list-style-type: none"> ●障がい者関係・高齢者関係の施設と、地域で開催する防災訓練を支援します。 【例】地域合同避難訓練(共催) など
	<ul style="list-style-type: none"> ●地域と施設の合同防災訓練や防災上のマップづくり等の取組が全地区で行われるよう支援します。 【例】災害ボランティア連絡会議、災害ボランティア関連の協定締結、防災資源マップづくり など
区役所	<ul style="list-style-type: none"> ●個人や地域の防災力を高め、災害緊急時の仕組みづくりに地域で取り組めるよう支援していきます。 【例】災害に強いまちづくり事業(防災リーダーへのフォローアップ、緊急時医療情報キットの配布、地域防災拠点への救急セット配布、要援護者支援体制の強化、地域医療救護拠点の役割の啓発) など
	<ul style="list-style-type: none"> ●防犯に対する関心を高め、地域での自主的な活動促進のための情報提供・活動支援に取り組んでいきます。 【例】防犯リーダー養成講座、防犯灯の設置促進、子どもの安全支援事業(防犯情報のメール配信、CAP(こどもへの暴力防止)研修の実施等) など
	<ul style="list-style-type: none"> ●誰もが安心して安全に出かけられるための環境づくりに取り組みます。 【例】交通安全運動の推進、放置自転車対策事業 など
	<ul style="list-style-type: none"> ●身近な地域でできる健康づくり活動を、保健活動推進員や食生活等改善推進員、地域の活動団体等と連携し推進していきます。 【例】町ぐるみ健康づくり教室、健康たうん・みどり推進事業、みどりヘルスアップ事業 など
	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもから高齢者まで誰もが心身共に健康で快適な生活が送れるよう、健康づくりに関する取組を進めます。 【例】子どもへの喫煙防止教室、思いやり健康づくりの日事業、健康づくり月間行事、介護予防事業 など